

## 試験研究（中間）評価整理表

意見整理表2(中間評価)

試験研究機関名 畜産試験場  
所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	外部評価アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期		
1	・多彩な農業の展開、先端技術等を活用した高度な技術の開発	牛群改良・飼料給与技術の改善による生乳の高位安定生産技術体系の確立	飼料給与法の改善による生乳の高位生産と繁殖性向上技術の確立	初産牛の泌乳初期における栄養水準について検討し、分娩前後の飼養管理技術の確立を図る。	初産牛の泌乳初期の栄養水準の違いによる産乳と繁殖成績への影響を調査し、初産牛の泌乳初期の栄養水準を明らかにする。	平成11	平成18	B	・評価は妥当である。
2	・多彩な農業の展開、先端技術等を活用した高度な技術の開発	飼養規模拡大方法および省力管理技術の体系化	省力的低コスト糞尿処理技術の確立	イナワラ等に代わる敷料資材を探索し、戻し堆肥との混合使用による発酵床について検討し、省力的で低コストなふん尿処理利用技術を確立する。	新たな敷料資材の探索と、得られた資材と戻し堆肥を敷料として発酵床に利用する混合方法、使用量について検討し、併せて、作業性や低コスト化について検討する。	平成14	平成17	B	・評価は妥当である。
3	・多彩な農業の展開、先端技術等を活用した高度な技術の開発	転作田と畜舎周辺農地を活用した高能力牛の健康維持管理技術	転作田と畜舎周辺農地を活用した高能力牛の健康維持管理技術	遊休農地等を活用し、乾乳期から放牧を取り入れた飼養管理について検討し、周産期病の低減を図る。また、転作田を活用した飼料基盤の拡大と飼料イネの生産給与技術を確立する。	放牧等運動による乳牛への影響と周産期病予防技術について検討する。さらに、資源循環による飼料イネの低コスト栽培技術と調製給与技術について検討する。	平成14	平成18	B	・評価は妥当である。
4	・多彩な農業の展開、先端技術等を活用した高度な技術の開発	自給飼料生産の省力、軽労化のための機械化作業体系の確立	長大作物の省力的収穫・調製法	「細断型ロールベア」による省力的収穫調製技術を確立し、トウモロコシサイレージの利用拡大を図る。また、他草種での利用を検討し、機械の汎用化を目指す。	「細断型ロールベア」を用いた飼料用トウモロコシの収穫・調製作業時間及びサイレージ発酵品質を明らかにした。今後は牧草類における汎用性及びサイレージ発酵品質を調査する。	平成14	平成17	A	・評価は妥当である。
5	・多彩な農業の展開、先端技術等を活用した高度な技術の開発	低投入持続型草地の導入維持管理技術の確立	低投入持続型草地の導入維持管理技術の確立	低投入持続型草種として期待されるリードカナリグラス(RCG)およびノシバ等短草型草種を用いた導入維持管理技術及び生産性の検討を行う。	RCGおよびノシバの導入維持管理技術を検討した後、RCGでは採草、ノシバでは放牧による利用管理技術および生産性の調査を行う。	平成13	平成17	C	・改善点が示されている。